事例No.	946
公表年度	R1
団体の属性	町村
団体名	福島県古殿町

事例区分	公会計

タグ	・適切な資産管理 ・公共施設等総合管理計画 ・研修会・勉強会

事例種類	適切な資産管理

事例内容・タイトル

施設コードの設定による固定資産台帳と総合管理計画の紐付け

出典

地方公会計の推進に関する研究会（令和元年度）報告書

上記のような活用をするに当たっては、固定資産台帳から各施設ごとの情報を抽出することとなるが、固定資産台帳に記載された資産は、必ずしも施設ごとの単位で登録されているものではないため、固定資産台帳のデータを活用するためには、施設ごとの単位で集計する必要がある。

そのためには、公共施設等総合管理計画に記載されている施設等の管理情報と、固定資産台帳に登録された資産を共通のコードで管理する等、互換性を持たせる（固定資産台帳のデータと個別の施設との紐付けを行う）ことが重要である。

施設コードの設定による固定資産台帳と総合管理計画の紐付け（福島県古殿町）

事例概要

○ 地方公会計と施設マネジメントを一体的に推進することで、公会計情報の施設マネジメントへの活用を図るとともに、職員の負荷軽減等、効率的な施設マネジメントにつなげる。

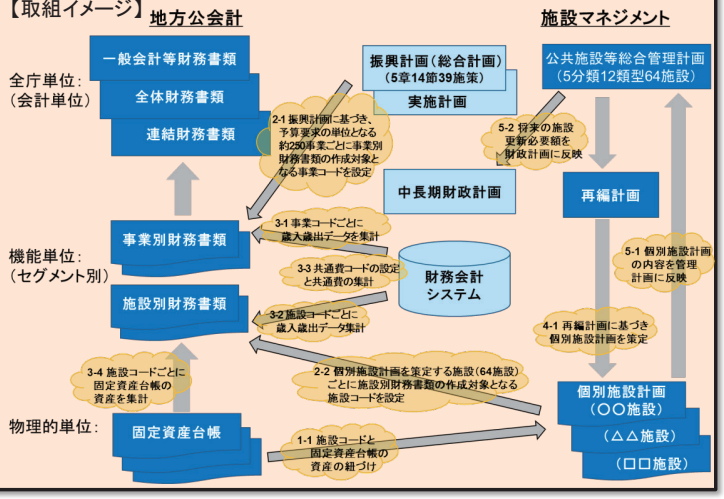
取組内容

○ 施設コードを使用し、固定資産台帳と公共施設等総合管理計画に記載されている公共施設とを紐付け
○ 固定資産台帳を含む会計情報を活用した個別施設計画の策定
○ 振興計画に基づく事業別予算の導入と、事業別財務書類（施設情報を含む）を活用した行政評価の導入
○ 事業別財務書類（施設情報を含む）を活用した個別施設計画の進捗管理
○ 公会計情報を活用した議会への提出資料の充実

【作業スケジュール】

	地方公会計	施設マネジメント
作成済み	・固定資産台帳	・公共施設等総合管理計画
令和元年度	・一般会計等財務書類 ・全体財務書類 ・連結財務書類 ・固定資産台帳の更新（平成30年度増減分） （セグメント財務書類作成に向けたタスク） 1-1 施設コードと固定資産台帳の資産の紐づけ 2-1 事業コードの設定 2-2 施設コードの設定	・再編計画 ・個別施設計画 （個別施設計画の作成に向けたタスク） 4-1 再編計画に基づき個別施設計画を策定
令和2年度	・事業別財務書類 ・施設別財務書類 ・固定資産台帳の更新（令和元年度増減分） （セグメント財務書類作成に向けたタスク） 3-1 事業コードごとに歳入歳出データを集計 3-2 施設コードごとに歳入歳出データを集計 3-3 共通費コードの設定と共通費の集計 3-4 施設コードごとに固定資産台帳の資産を集計	・公共施設等総合管理計画の改訂 （総合管理計画改訂に向けたタスク） 5-1 個別施設計画の内容を総合管理計画に反映 5-2 将来の施設更新必要額を財政計画に反映

【取組イメージ】



効果等

○ 公会計情報を予算編成で活用することで、予算の「見える化」が図れる。
○ 振興計画、実施計画に記載した事業を対象に行政評価を実施することで、計画の着実な実施が図れる。
○ 固定資産台帳の精緻化、固定資産台帳更新の簡易化が図れる。